

BP
business partner

日本HPの製品情報をお届けするセールスノウハウマガジン

Navigator

HP LIMITED EDITION



2024 Spring

特集

HP eSIM Connectモデル登場

Presented by **Otsuka Corporation**

HP eSIM Connect

HPの法人向けPCが可能にした 「データ通信5年間使い放題」の 気になる中身を担当者が解説

オフィスと自宅でそれぞれ仕事をする在宅ワークはもちろん、最近ではサテライトオフィス、ワーケーションなど、あらゆる場所で仕事をするハイブリッドワークを採用する企業も増えている。そんな中、もっとも大切になるのがネットワークの存在だ。あらゆる場所で仕事をするには、どんな場所でもインターネット回線に接続できなければならないのだ。これまで、多くの企業はスマートフォンによるテザリングや、ポケットWi-Fiなど、追加料金が発生する通信方法に頼るしかなかったが、日本HPが新たに発表した「HP eSIM Connect」は、ノートPCを購入すると5年間のデータ通信使い放題が付いてくる画期的なソリューションだという。驚愕のサービスをより深く知るために、HPの担当者 岡氏に話を伺った。

BP: 各業界で大きな注目を集めている「HP eSIM Connect」ですが、どのようなサービスなのか概要を教えてください。

岡 氏: はい、簡単に説明すると、HP eSIM Connect対象モデルをご購入いただくことで、5年間使い放題のデータ通信がついてくるというソリューションです。もちろん通信に関して追加料金の発生もなく自由にお使いいただけます。

すし、通信環境は4G/LTE、もしくは5Gが利用できます。通信キャリアはKDDI、すなわちau回線なので、山間部や一部の離島などを除き、ほぼ全国でノートPCの利用が可能となります。

お申し込みも簡単で、例えば対象モデルの「HP Dragonfly G4 HP eSIM Connect付属モデル」をご購入いただいた後、申し込みサイトからサービス開始の手続きをしていただけます。こちら



株式会社 日本HP パーソナルシステムズ事業本部
クライアントビジネス本部 CMIT製品部長 岡 宣明氏

はいくつかの書類を集めていただく必要がありますが、IT管理者のどなたか1名が代表となることで、すべての対象ノートPCの手続きがおこなえます。

eSIMを利用するサービスなので、利用開始にあたってSIMカード配布やセットアップなどは不要です。すべてがオンライン上で解決できるので、物の紛失や破損といったリスクがないのもメリットですね。

日本全国でつながる、au回線を利用

HP eSIM Connect 対応モデルは、速い、広い、つながりやすいを実現するauのネットワーク回線を利用。日本全国の幅広いエリアに対応しているので、移動中や屋外も快適にご活用いただけます。

▶ サービスエリアマップ (au公式)

回線申込の流れ

HP eSIM Connect 対応モデルのご購入後、eSIM回線の利用開始手続きが必要となります。
なお、法人にてお申し込みいただくIT管理者様のみの本人確認書類および確認手続きが必要となります。

STEP 1

申込サイトでの
アカウント作成

専用フォームからお申し込みください。
(普段ご利用されているメールアドレスをご準備ください)

STEP 2

回線申込



各種証明書類および購入されたPCのシリアルナンバーが必要になります。
「回線申込手続きに必要な証明書類3点」をご参照のうえ事前にご準備ください。
シリアルナンバーはPC販売店へ提供をご依頼ください。

STEP 3

本人確認手続き



STEP 2 終了後、KDDIによる本人確認手続きを実施します。

STEP 4

利用開始手続き
(アクティベーション)

STEP 3 終了後、KDDIによる利用開始手続きを実施します。
手続き完了まで最大3営業日いただく場合があります。

※利用開始手続きにおいて、PCのシリアルナンバーの入力が必要となりますが、シリアルナンバーのシステム登録に出荷日より数日間かかる場合がございます。利用開始手続き中にエラーが出る場合、お手数ですが、日にちを変えて再度お手続きくださいますようお願いいたします。

BP: すばらしいサービスですね。どのようなニーズからHP eSIM Connectは生まれたのですか？

岡 氏: これまでも、SIM/eSIMを搭載するビジネスノートPCはありましたが、思ったように普及はしていませんでした。それというのもSIMにしてもeSIMにしても、通信業者のサービスを利用するためには月額課金の追加料金が発生することが課題だったのです。

また、企業によってはPCの購入は情報システム部、通信料金の管理は総務部といったように、SIM/eSIMモデルを運用するのに複数の部署で管理する必要があるケースも多かったと思います。

つまり、これらの問題はコストと、追加サービスであるという部分にあったわけ

で、HP eSIM Connectは、最初からノートPCに搭載しているeSIMに5年間使い放題のデータ通信をセットにして販売することで、運用管理は情報システム部のみで済むうえに、モバイル通信網をいつでもどこでも使うことが可能でありながら追加料金に悩む必要も無くなるというわけです。

BP: 課題解決に大いに役立つサービスということですね。HP eSIM Connectにはほかにどのようなメリットがあるのでしょうか。

岡 氏: 様々なメリットがあると考えます。ユーザーにとっては、ノートPCを開くと常にインターネットにつながっている状態となるわけなので、スマートフォンの

ような使い方ができることになります。社外でノートPCを開こうと思った際に、Wi-Fiを探したり、ほかのデバイスの用意をしたりする必要がなくなります。

あとこれはあまりよくないお話ですが、オフィスや自宅以外で仕事をする際に、オープンカフェのようにフリーWi-Fiがある場所だとなついつい使ってしまうというケースも多いと思います。すべてが危険とはいいませんが、いわゆる“野良Wi-Fi”には危険が付きまとうと考える企業も多いと思います。HP eSIM Connectはそうした危険を冒さずとも、安全にインターネットに接続することができるので、ついついそういった選択をしてしまうというケースは大幅に削減できるでしょう。

また、情報システム部にとってもメリットがあり、常時接続環境が最初からあることになるので、OSやアプリケーションのセキュリティアップデートなどは断然やりやすくなると思います。

企業としても社員に公平にネットワーク環境を貸与できることにもつながりますし、その環境を個別に作ろうと思えば、HP eSIM Connectとは比較にならないほどのコストが掛かります。そうした、環境づくりの容易さや、コストメリットから、まだハイブリッドワークの環境が整っていない、あるいは乗り換えを考えているという企業にも最適なサービスだと考えます。

BP: 今回、HP eSIM Connect対応モデルとしてHP Dragonfly G4がラインアップしています。どのようなノートPCなのか教えてください。

岡 氏: HP Dragonfly G4はHPビジネスノートPCのフラッグシップモデルで、第13世代インテル® Core™ プロセッサーによるパワフルでストレスのない作業環境と、消費電力の効率化によるロングライフバッテリー、超軽量デザインが特長の製品です。Web会議の機会が非常に増えていると思いますが、5MPの高精細Webカメラや360度マイク、Bang & Olufsenクアッドスピーカーといった、映像、音声に優れた機能を持っており、オンラインミーティングの品質を大きく向上させてくれます。これらの理由からハイブリッドワークに最適な機能を提供することができ、HP eSIM Connectとの組み合わせはベストといえます。

BP: ご説明ありがとうございます。最後にパートナーに向けてアドバイスがありましたらお願いします。

岡 氏: HP eSIM Connectはこれまでにない画期的なサービスなので、すでに大

きな反響をいただいていますし、私たちのところにもたくさんのご相談が来ています。先ほども触れたように通信環境やコストやハイブリッドワーク環境でお悩みの方はもちろんなのですが、そのほかにもBCPの観点でご興味を持っていたりしている企業様もいらっしゃいます。

HP eSIM Connect対応モデルはeSIMに2つのプロファイルが設定できます。本体の物理SIMカードスロットと合わせると、3つのプロファイルが登録できるので、HP eSIM Connectを中心に、残りの2つに別のキャリアのサービスを登録しておくことができます。

これによって、例えばau回線の大規模障害や、自然災害による回線障害があった場合、他キャリアに切り替えることで、ビジネス継続性を高めるといった使い方も可能になるのです。もちろん、これは既存のSIM/eSIMサービスをお使いの企業様にもいえることで、通常はそちらのサービスをお使いいただき、万が一の際にはバックアップとしてHP eSIM Connectをご利用いただくといったケースも想定できると思います。

パートナーのみなさまがお客様へアプローチしていただく際には、外部での

通信環境をどのようにされているのか、ハイブリッドワークに対してどのようなアプローチをとっておられるかを十分にアヒンクしていただくと、よりHP eSIM Connectのメリットを感じていただけるようになると思います。

また、こちらがパートナーの皆様にとっては一番の注目ポイントかもしれませんが、HP eSIM ConnectはPC1台あたりの単価が高く設定できるという点もあります。まだ、競合もいませんし、いわゆる削りあうようなビジネスにはならないので、業務効率はとても高いといえます。

まだ始まったばかりのサービスなので、HPの他のソリューションとの組み合わせなどにもご注目いただければ、かなりの課題解決が可能になると思います。HP eSIM Connect対応モデルも順次増やしていく予定なので、そのあたりの情報共有もしていただき、パートナーのみなさまに今後も貢献していきたいと考えています。

BP: ありがとうございます。



第13世代インテル® Core™ プロセッサと Windows 11が実現するハイブリッドワーク環境

ハイブリッド型のワークスタイルでは、自宅やオフィスはもちろん、外出先でもマルチタスクで業務を行えるパワフルなPCが求められている。第13世代インテル® Core™ プロセッサとWindows 11ならハイブリッドワーク時代に適したパワフルなモバイル性能で日頃の業務をサポートしてくれる。

最先端のテクノロジーを搭載した 第13世代インテル® Core™ プロセッサ

第13世代インテル® Core™ プロセッサは、高性能なP-Core(Performance-core)と高い電力効率のE-Core(Efficient-core)を組み合わせた「ハイブリッド・アーキテクチャ」を採用している。

この2種類のコアが稼働するハイブリッド・アーキテクチャのパフォーマンスを最大限に引き出すために導入された仕組みが、「インテル® スレッド・ディレクター」だ。インテル® スレッド・ディレクターは、Windows 11との組み合わせにより、どのコアを使えば、CPUのパフォーマンスを最大限に引き出せるのかを管理している。アプリケーションの動作状況を常に監視



しながらタスクを最適に割り振る、まさに「司令塔」的な存在だ。複数のアプリケーションを同時に立ち上げて作業するマルチタスクが当たり前になっているからこそ、インテル® スレッド・ディレクターのような司令塔がいることで、高いパフォーマンスを維持することができる。

最先端のテクノロジーを搭載した第13世代インテル® Core™ プロセッサとWindows 11が融合することで、PCのパフォーマンスは最大に発揮され、自宅やオフィスはもちろん、外出先での業務はより快適になる。

高性能ハイブリッド・アーキテクチャ



高性能 Performance-core (P-Core)

- ・高性能コア
- ・高負荷のシングルスレッド・タスクを高速処理
- ・高いターボ周波数および高いIPC (サイクル当たりの実行命令数)
- ・ハイパースレッディングに対応し、2つのスレッドを同時処理

高効率 Efficient-core (E-Core)

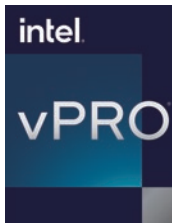
- ・高効率コア
- ・消費電力当たりの性能効率を最大化
- ・スケーラブルなマルチスレッド処理に最適
- ・バックグラウンド・タスクの効率的な実行に最適化

前世代の第12世代インテル® Core™ プロセッサから 更に性能向上



CHECK!

前世代から採用されたハイブリッド・アーキテクチャを踏襲しながら、性能を更に向上した最新の第13世代インテル® Core™ プロセッサは、3年前のモバイルPCと比べて、Windows アプリケーションのパフォーマンスを最大2.3倍高速化している。



ハイブリッドワークに適したセキュリティ・運用管理「インテル® vPro® プラットフォーム」

セキュリティに優れたインテル® vPro® プラットフォーム
インテル® vPro® プラットフォームの一部であるインテル® ハードウェア・シールドは、OS より下の階層に対しても保護。ハードウェア、BIOS / ファームウェア、ハイパーバイザー、VM (仮想マシン)、OS、アプリそれぞれの層まで掘り下げて防御をおこなうことで、現代の脅威からの保護と防御を支援してくれる。

リモート管理機能によりサポートコストを削減

インテル® vPro® プラットフォームは、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー (インテル® AMT) による強力なリモート管理機能を提供。この機能により、PC の電源がオフになっている場合やOS が応答しない場合でも、IT 部門はネットワーク上の PC のリモート障害対応、日常の運用管理が可能。現場でのサポート業務や出張サービスを削減し、IT 効率を高めることができる。



第13世代インテル® Core™ プロセッサ搭載。 5年間データ通信無制限 「HP eSIM Connect」 対応モデル登場!

「HP eSIM Connect」対応モデルなら、
HPの法人向けノートPC(4G LTE、5Gモデル)に
データ通信上限なしのeSIMサービスを組み合わせることで、
日本全国いつでもどこでも働ける環境が実現する。

HP Dragonfly G4

ハイブリッドワークの革新を極める、
13.5 インチ・フラッグシップノート PC

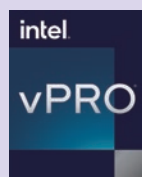


第13世代インテル® Core™ プロセッサ搭載 モバイルPC 「HP eSIM Connect」 対応モデル登場

オフィスや自宅、顧客先へとさまざまな場所で活躍するビジネスパーソンが必要とするPCは、バッテリーの長時間駆動、ネットワークのつながりやすさ、強固なセキュリティ、そして軽量なモデルといった厳しい条件が求められる。この全ての条件を満たすのがHP Dragonfly G4だ。

HP Dragonfly G4は、CPUに第13世代インテル®Core™プロセッサを搭載。また、5年間データ通信が上限なしで使い放題のモバイルPC「HP eSIM Connect」対応モデルが登場。HPの法人向けノートPC(4G LTE、5Gモデル)と「HP eSIM Connect」を組み合わせることで、日本全国いつでもどこでも働ける環境を提供してくれる。

より強固なセキュリティを求めるなら
インテル® vPro® プラットフォーム搭載モデルが
おすすめ!



- ・インテル® ハードウェア・シールドはOSより下の階層に対しても保護!
- ・インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー (インテル® AMT) による強力なりモート管理機能!

※一部モデルのみ

HP eSIM Connect とは?

Point 1

法人様限定!
5 年間データ通信上限
なしで使い放題



4G LTE/5G 対応の通信サービスが追加費用なし、データ容量無制限^{※1}、速度制限なし^{※1}が法人限定で利用可能。速度制限や追加コストに悩む必要がなくなり、通信コストの削減が可能となる。

Point 2

Wi-Fi 環境が
なくても安心



モバイルWi-Fiルーターや専用のドングル、テザリングの接続や設定が不要!
速い、広い、日本全国でつながる、au回線を利用するので、移動中や屋外も快適に活用できる。

Point 3

管理・開通プロセスの
工数削減



物理的なSIMカードは不要。紛失、誤配、破損といったトラブルが起こらない。またオンラインで回線の開通手続きが完結。SIMカードの配送を待つ必要がないため、速やかに利用できる。

※1 一定期間内に大量のデータ通信のご利用があった場合、混雑する時間帯の通信速度を制限する場合があります。約款違反や不正利用が発覚した場合、通信の切断を行う場合があります。
テザリング (モバイルホットスポット) の利用は禁止とさせていただきます。

※「HP eSIM Connect」をご利用いただくには法人登記情報が必須となります。

最新の第13世代インテル® Core™ プロセッサーを搭載する HPのビジネスPCを紹介!

HP EliteBook 630 G10

次世代のパフォーマンスと優れたセキュリティを
搭載したスタンダード・モバイルノートPC



■ HP EliteBook 630 G10 の特長

あると便利な HDMI 出力端子や 有線 LAN ポート搭載

薄型ながら、外部モニターやプロジェクターと接続できるHDMI出力端子、あると便利な有線LANポートなどビジネスに必要なインターフェースを標準で搭載している。



映像のゆがみを自動で補正

Web会議の画面に映るホワイトボードや物理的なドキュメントをワンクリックで共有。また、焦点を自動で合わせることができ、トリミング/台形補正してくれる。

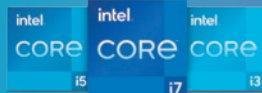


過酷な環境でも駆動する 確かな品質と堅牢性

HPのビジネスPCは、机からの落下、満員電車の圧力、温度の高低差やホコリ・高湿度の中など、PCを利用するさまざまな環境を想定した厳格なテストをクリアしている。

HP ProBook 450 G10

先進のコラボレーション機能とセキュリティを
備えたスタンダード薄型 A4 ノート PC



■ HP ProBook 450 G10 の特長

光の映り込みがなく 表示範囲が広い

映り込みが少ない非光沢ディスプレイを採用。画面占有率が高く、広い表示範囲を実現するスリムベゼル。目の前のコンテンツに集中できることで生産性と効率性を高めてくれる。



●15.6インチワイド(16:9)フルHD液晶ディスプレイ
(非光沢、1920×1080ドット、250cd/m2、UWVA)

使いやすい日本語 キーボード

18.7mmのフルサイズのキーピッチ、キーストローク1.5mmと打ちやすく疲れにくいキーボードを搭載。事務作業に便利なテンキーが付き、クリックパッドは、非常になめらかでより直感的な操作ができる。



快適な Web 会議に欠かせない コラボレーション機能

在宅勤務者と出勤者が混在するハイブリッドワーク化が進む中、遠隔コミュニケーションの強化が必要不可欠となっている。

AI が双方向の雑音を除去

周囲のノイズやキーボード音を除去する、AIベースのノイズキャンセル機能を搭載。自動的にノイズを学習、周囲の生活音を低減し、双方向にクリアな音声を実現している。

査定不要!

PCリユースプログラム

定額 5,000円で購入します。

PCリユースプログラムは、HPの法人向けPCをご購入いただく際に、不要となる使用済PCを定額で購入させていただくプログラムです。HP製品はもちろん、他社製品も査定不要で購入します。買取後は、国際規格に準拠する方法でデータを消去し、お客様の情報を保護、データを完全に消去したPCは、海外の工場で正常に動作するよう再生され、リユース(再利用)されます。

法人向けWindows PCの場合



5,000円/台
(税込)をお支払い

買取対象

- ・HPまたは他社製の法人向けWindows PC (ビジネスノートPC、ビジネスデスクトップPC、ワークステーションPC)

対象構成

- ・インテル® Core™ プロセッサ第6世代以降、もしくはAMD Ryzen™以降のCPUが搭載された製品

その他の対象PCの場合



500円/台
(税込)をお支払い

買取対象

- ・HPまたは他社製の法人向け及び教育向けChromebook(Chrome OS を搭載したPC)
- ・HPまたは他社製の教育向けWindows PC

ご注意事項

- ・キーボード・マウス及び電源ケーブルなどパソコンの動作に必要な付属品も含めた回収が必要となります。
- ・対象世代以降のCPUで、CeleronやAthlonなどの廉価版CPUが搭載された製品は、500円/台となります。

お申し込みの流れ

お申し込み	見積り	請書	回収・検収	支払	紹介料申請	支払
1	2	3	4	5	6	7
PCリユースプログラム売却依頼書(販売パートナー様用)に必要事項を記入の上お申し込みください。	お見積りをお送りします。製品の回収およびデータ消去に係る費用は、日本HPが負担します。	今回のご契約内容、お取引内容に間違いがないかをご確認いただきます。	お客様と回収予定を調整し、日本HPが契約する物流業者が回収に伺います。	検収後、お客様の支払い条件に沿って買取金額をお支払いします。	紹介料支払いのお申込みをいただきます。 ※HP製品の販売がわかるエビデンスをご提出ください。	販売パートナー様の指定口座に買取金額の5%をお支払いします。

PCリユースプログラムの詳細はこちら

<https://jp.ext.hp.com/services/business/renew/reuse/>

